



本園2歳児

R4.11.1発行

昼夜の寒暖の差もだんだんと大きくなり、肌寒い季節となりました。

先日は運動会のご参加・ご協力ありがとうございました。練習では楽しそうに踊っていたフルーツポンチ。本番は緊張している姿も見られましたが、私たちが想像していた以上に、普段とは違う環境や大勢の人の前で踊っている姿を見て嬉しく思いました。保育者の真似をして踊っている姿、巧技台で膝を曲げてジャンプをしている姿などを見て、子どもたちの成長を感じることが出来たのではないかと思います。

先月は移行に向けて、分園の友だちと一緒に過ごす機会を多く持ちました。以前は名前呼びの際に、恥ずかしさから返事をする声が小さかったり、返事が出来ない姿が見られていました。しかし、今では大きな声で自信を持って返事をしたり、「お名前なんですか？」と保育者に聞かれ、「～です」と自分の名前を友だちの前で言う練習もしているところです。また、室内や戸外遊びでは、好きな遊びを見つけて個々に遊ぶことを楽しんでいましたが、最近はおねがい組のうさぎ組の子どもたち。保育者が仲立ちとなることで本園・分園共に関わりながら遊ぶ姿が少しずつ見られるようになり、交流を重ねていくごとに距離が縮まってきています。引き続き、簡単なルールのある遊びなどを通し、保育者が仲立ちとなって友だちと関わって遊ぶ楽しさを伝えたり、遊びが広がるようにしていきたいと思ひます。



自分でお着替え！

うさぎ組では自分で衣服の着脱が出来るように頑張っています。以前は着脱前から「手伝って」と言って自分でしようしない姿もありましたが、出来るところまでは自分で行うことを繰り返し伝えてきたことで、今では保育者の声掛けで取り組もうとしています。長袖や、衣服のサイズが小さかったりすると、衣服の脱ぎ着がしにくい姿も見られますが、全て保育者が手伝ってしまうのではなく、途中まで手伝ったり、さりげなく援助をし、自分で出来たことをほめることで嬉しそうにする姿が見られています。しかし、まだ衣服の前後に気がつかない子がほとんどです。衣服の前後や、衣服のどこを引っ張って脱ぐのかなど、着脱の仕方を丁寧に知らせていき、自分でやろうとする気持ちを認め、出来たことをほめることで、“自分で出来た！”という自信や意欲につなげていきたいと思ひます。お家でもぜひ自分で取り組めるよう関わって頂けたらと思ひます。

○今月のねらい

- ・本園、分園交流を進めていく。
- ・食具を使って自分から食べ進める。

○今月の予定

- ・誕生会・身体測定・避難訓練・保護者会

○今月の活動

- ・分園交流・散歩(公園)・遊具遊び・ルールのある遊び
- ・指先遊び(はさみ、のり、クレヨン、紐通しなど)



おたんじょうびおめでとう♪



・寒くなってきたため、保育園用の散歩ジャンパーをお預かりいたします。安全面を考え、フードがなく着脱しやすいものを用意し、必ず記名をお願いします。